

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
• 学部	工学部		
• 学科(コース等)	情報通信工学科		
• 学年(渡航開始時)	3年		
• ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい	☒ 学部・学科まで掲載してよい	☐ 完全匿名での掲載を希望

留学先情報			
• 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型	☐ オンライン型	
• プログラムタイプ	☒ 授業履修型	☐ 研究室配属型	
• 国・地域名	マレーシア		
• 都市名	ジョホールバル		
• 留学先大学名	マレーシア工科大学		
• 留学期間	☐ 3ヶ月未満	☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度）	☒ 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024年2月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
• 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期	☐ 修士1年前期	
	☐ 1年後期	☐ 修士1年後期	
	☐ 2年前期	☐ 修士2年前期	
	☐ 2年後期	☐ 修士2年後期	
	☒ 3年前期	☐ 博士以上	
	☒ 3年後期		
	☐ 4年前期		
	☐ 4年後期		
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	芝浦の自分が所属している学科にマレーシアからの留学生が転入してきたのを期に、彼らと仲良くなりその国に興味を持った。また、マレーシア工科大学は幅広い理系の学科を有しており、私が先行している通信工学を学べる学科もあったので、その大学に決めた。		
• (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
• 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	

留学先での学習・研究状況			
留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	一科目につき週2〜3時間が割り当てられ、授業スタイルは科目や先生によって異なっていた。ある授業では、3時間ある授業時間のうち(授業日は週2日あり、2時間のコマと1時間のコマに別れている)先生が一方的に話し続けるスタイルだった。一方で、実験やグループワーク、プレゼンテーションなどアウトプットを要求する授業が大多数であり、積極的な授業への参加とグループへの貢献が必要であった。日本の授業に比べてアウトプットが多く求められたが、プロジェクトをどのように進めるかについての指導がほとんど無く、学生に放任するスタイルがどの科目にも共通してあった。はじめはそのやり方に戸惑い、難しく感じたが、自分で調べる力・積極的に質問する力はとても身についたと思う。		
	科目名①	Microwave Engineering 単位数 (現地単位数)	3
授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)	科目概要	マイクロ波工学に関する授業。伝送線路理論やスミスチャート・導波管・マイクロ波フィルタなどマイクロ波工学における幅広い分野について学んだ。また、最終課題としてグループでのプレゼンテーションが学期末にあった。	
	科目名②	Digital Signal Processing 単位数 (現地単位数)	3
	科目概要	デジタル信号処理に関する授業。畳み込みなどの計算手法をもちいて離散的な数値の処理方法を学んだ。授業は講義→問題演習といったスタイルで日本と似ていた。しかし、最終課題としてシミュレーションソフトを用いたデジタルフィルタの設計をグループで行うことが課された。	
	科目名③	3rd Year Specialized Lablatory 単位数 (現地単位数)	2
	科目概要	通信工学に関する4つの実験(1つの実験につき3週間)をオムニバス形式で進めてゆく授業。2週間で実験を行い、その成果を3週目で先生に対して発表する形式だった。	
	科目名④	RF Microwave Circuit Design 単位数 (現地単位数)	3
	科目概要	高周波回路設計に関する授業。回路が所望の動作をするようにどのように回路定数を計算し、どのように部品を接続するのかについて学んだ。学期の後半には授業内容に関するクイズ大会が開かれ、楽しく学ぶことができた。また、最終課題としてシミュレーションソフトを用いた高周波バンドパスフィルタの設計が課され、それについての研究レポートとプレゼンテーションもあった。	
	科目名⑤	Antenna Design and Analysis 単位数 (現地単位数)	3
	科目概要	アンテナの設計と性質に関する授業。先生が一方的に話すスタイルでグループプロジェクトやプレゼンテーションなどのアウトプットも無かった。	
	科目名⑥	Professional Communication Skill II 単位数 (現地単位数)	2
	科目概要	プレゼンテーションやグループディスカッションに関する授業。英語でのスピーキングやライティングのアウトプットが非常に求められる内容であった。	

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	とにかく積極性が大切だと思います。どこか行こうと誘われたらできる限り参加し、また自分から誘うことも大事です。そうすることで友達の輪が広がり、毎日が充実します。また、留学生の友人だけでなく、現地の友人を作ることがとても重要です。困ったときに一番助けてくれるのは現地のことをよく知ってる人です。自分が留学生という立場のため他の留学生との方が仲良くなりやすいですが、現地人にも積極的にアプローチしたほうがいいと思います。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	1年間の留学で目標に掲げていた語学力と専門知識の向上は大いにできたと思う。また、多くの友人を世界中に作れたことが留学した何よりの成果だと感じる。バックボーンの違いにより、コミュニケーションを取っていて嫌に感じることもあったが、それもまた貴重な経験であり、視野が広がったと思う。また、私はバスケットボールが得意であったため、同じ寮に住んでいる多くの留学生たちと近くのコートでバスケを楽しんだ。スポーツを共にやると言葉の壁を越えた絆が生まれると実感した体験だった。このように、何か自分が得意なものがあり、それにいろいろな人を巻き込んでいくと大きな新しい発見があると感じる。日々他の留学生たちと同じ寮で生活を共にしていくことで、最終的には家族と思えるような仲になれたことが留学中で得た大きな財産である。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）

英語でエッセイを書くことが求められるので、1回書いたら終わりではなく、誰かに添削してもらったほうがいいと思います。また、マレーシアの大学からのメール返信はとても遅いということを前もって考慮しておいて、早めに行動することをおすすめします。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）
（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

大使館に何度か行かなければいけないことが大変だと思います。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 **（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）**

- 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）

協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）

芝浦の先輩が住んでいた部屋をそのまま引き継いだ。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？

バス
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

学部棟まで徒歩5分（寮は大学の敷地内にあった）
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

一人部屋が与えられ、広さは6畳程。狭いと感じたことはない。風呂トイレキッチン共用であまりきれいではない。また、周りが森なので巨大な虫や野生動物が頻繁に出没する。他の留学生がたくさん住んでいるので交流が盛ん。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥225,000	内1000リンギット(約35000円)はプログラム終了時に返金される
往復航空券代(往復)	¥116,000	首都クアラルンプールから大学があるジョホールバルまでは飛行機の他にバスでも行くことができ、その方が少し安くなる。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥175,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥0	ビザ申請費用は協定校へ支払った費用に含まれている。
計	¥516,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥25,000	
食費/月	¥30,000	大学内の食堂では400円程度でしっかりした量が食べられるがレストランなどに入ると1食1000円以上はかかる。
その他/月	¥30,000	交際費:毎月3万円かかるわけではないが、友人と旅行に行った月は4~6万円かかるため平均して3万円とした。
計	¥85,000	

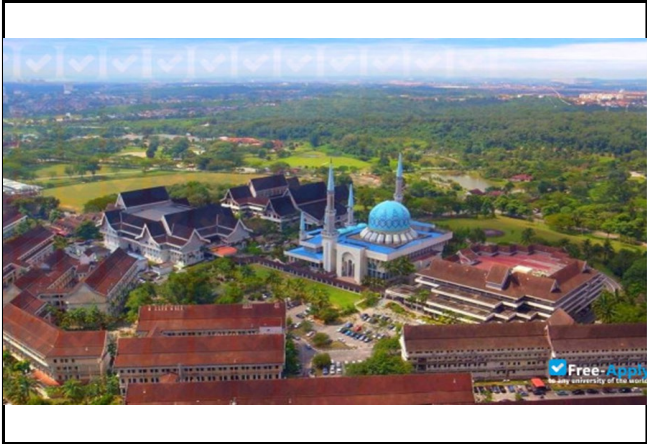
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	毎月振込
	¥130,000	1年間の留学だったため渡航援助金として一括で振り込まれた。
計	¥210,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学は広大な敷地を有しており、1つの町のような雰囲気。中心には大きなモスク(イスラム教徒が礼拝する場所)がある。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

Global Residence という場所で多くの留学生たちが共に生活している。

その他、任意の写真



説明文

Farewell Party での写真。最後にプレゼントも貰い、とても楽しく、感動的な経験だった。

その他、任意の写真



説明文

マレーシアにあるランカウィ島に友人たちと旅行に行った際の写真。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。